



津南中等教育学校だより

平成30年度（8号）



4学年 ニュージーランド海外研修報告

11月15日（木）～24日（土）、4年生はニュージーランドのオークランド郊外にある Whangaparaoa (ワンガパラオア) College と Orewa (オレワ) College で海外研修を行っています。

この研修は、これまで学習してきた英語を実践の場で生かし、今後の英語学習の動機付けとするとともに、異文化理解を深め、グローバルな視点でものごとを考えることができるようになることを目的に、毎年行っている学校行事です。

ニュージーランドは南半球の国なので、季節は初夏です。また、時差は日本時間+4時間と、アメリカやヨーロッパに行くよりは楽に過ごせます。現地では1人1家庭のホームステイで、ホストファミリーや現地校の生徒や職員などと交流を深めています。

ニュージーランドからの写真が届きましたので、早速紹介します。



ニュージーランドの生徒とおしゃべり



英語での授業風景



マオリ文化を学んだ授業を終えて



初夏の日差しを浴びて

出発するときは不安な表情を浮かべていた生徒達も、すっかりニュージーランドの生活に慣れ、楽しんでいます。帰国の日、何人の生徒が「日本に帰りたくない!」と言い出すか、少し心配ではあります。

本校への入学をお考えの保護者の皆様へ

1 平成31年度入学生の適性検査日程について御案内いたします。

(1) 入学願書受付期間 平成30年12月19日(水)から12月21日(金)正午まで

※ ただし、土曜日及び日曜日を除く。(小学校を通して出願してください。)

(2) 選考検査 平成31年1月12日(土)

(3) 合格者発表 平成31年1月20日(日)午前10時

2 適性検査の内容及び選考は、県教育委員会の要項によります。今年度の適性検査は、作文、グループ活動、面接です。この適性検査と小学校からの調査書により入学者の選考を行います。

3 本校の「求める児童像」

- 本校入学の明確な目的意識を持っている児童
- 「夢の実現」に向けた意欲や向上心を持っている児童
- ※ 本校に入学して、「夢の実現」のために学習や部活動に取り組み、力を伸ばしたいという明確な目的意識のある児童を求めます。「友達が中等に行くから」、「保護者が中等に行けと言ったから」といった理由だけでは入学後が心配です。本人の意思や決意を再度確認のうえ出願してください。
- 資料等の分析と、その結果を用いて自分の考えを適切に論述できる児童
- 話し合いに積極的に参加し、グループの友だちと協力して問題解決に当たることができる児童
- 今、何が問題となっているかを的確に理解し、建設的な意見を提案できる児童

「津南中等教育学校」のホームページもぜひ御覧ください。

URL <http://www.tsunan-ss.nein.ed.jp>

津南中等教育学校 校長 渡邊 治夫 津南町下船渡戊 298-1 電話 025(765)2062
--

◎新しい高等学校新習指導要領の実施に向けた取組

「地域活性化プロジェクト講演会」

日時：11月29日(木) 14時30分から16時

場所：津南中等教育学校 ランチルーム

対象：本校5年生、保護者、地域の皆様 (どうぞお越しください)

講師：大正大学 地域構想研究所 教授 浦崎 太郎 様

(紹介) 長年、岐阜県で高校教師として勤め、人事交流等で中学校や博物館も経験。地元では、「まちづくり協議会」の立ち上げに参画。公私にわたる広範な現場経験に基づき、学校と地域の連携や協働について実践的に研究し、地域の課題解決にむけて多様な大人が協働する現場に高校生を送り込むキャリア教育の確立と普及に尽力。文部科学省中央教育審議会学校地域協働部会専門委員等を務め、2017年4月より現職。高校・大学・地域の三者連携により、人材の回帰をはかる仕組みの社会実装に関する研究や連携支援のほか、地域創生学部の地域実習の企画や運営にも従事している。

委員・表彰等 ①中央教育審議会 生涯学習分科会 学校地域協働部会 専門委員 (2015.5～2017.2)

②文部科学省 高等学校教育改革に関するアドバイザー (2018.5～)

主な著書・編集等 アクティブラーニング実践II (2016.8 産業能率大学出版部)